

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場会社名 株式会社 なとり

上場取引所 東

コード番号 2922 URL <http://www.natori.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 名取 三郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務管理本部長

(氏名) 小林 眞

TEL 03-5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	15,569	3.5	738	244.9	752	240.1	345	705.9
21年3月期第2四半期	15,042	—	214	—	221	—	42	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	23.76	—
21年3月期第2四半期	2.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	23,698	14,144	59.7	972.61
21年3月期	23,783	13,883	58.4	954.69

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 14,144百万円 21年3月期 13,883百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年3月期	—	6.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,100	1.3	1,230	42.7	1,280	49.2	420	136.0	28.88

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

〔(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	15,532,209株	21年3月期	15,532,209株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	989,472株	21年3月期	989,532株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	14,542,709株	21年3月期第2四半期	15,012,684株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。
業績予想の前提となる条件等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、大企業製造業を中心として一部に景気持ち直しの兆しが見られるものの、雇用情勢や所得環境は依然厳しく、個人消費の低迷は続いております。

食品業界では、景気低迷による消費者の生活防衛意識の一層の高まりから、低価格志向商品への需要シフトが進行すると共に、小売業界のPB（プライベートブランド）商品への拡大により、引き続き厳しい競争にさらされています。この消費者意識の変化を背景にした「内食回帰の傾向」が一部追い風となっております。一方、高品質な製品への要求も次第に広がっており、その結果、「低価格でありながら高品質である製品」の提供も求められております。

このような状況のもと、当社グループは、2年目となった中期経営計画「イノベーション63」の4つの経営目標「新たなおつまみ市場の創出」「自己革新による収益力の強化」「グローバル化の一層の推進」「社会的責任～安全・品質・環境～の重視」の達成に向け引き続き取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における売上状況につきましては、全国の地域主力チェーンへの取り組み強化、及び大手コンビニエンス、総合スーパーへのチーム編成による提案型営業の取り組み強化を実施すると共に、消費者の低価格志向とプレミアム志向に対応した競争優位な新製品の市場投入を積極的に行った結果、好調に推移いたしました。

当第2四半期連結累計期間における売上高を製品群別に分類しますと、珍味売場では、水産加工製品のいか製品が、「黒胡椒あたりめ」の拡販、「おいしいいかなんこつ」等のプレミアム製品の売上貢献により増収となり、貝柱・貝ひも製品などのいか以外の水産加工製品および揚物製品は苦戦しましたが、水産加工製品全体では増収となりました。畜肉加工製品については、好調なジャーキー製品に比較して、ドライソーセージ製品が売上を伸ばせず減収となりました。

酪農加工製品では、主力製品であるチーズ鱈のプレミアム製品が売上を伸ばし、また大手チェーンへの新規導入が進み、大幅な増収となりました。農産加工製品では豆菓子を中心とした低価格帯の「ジャストパックシリーズ」が順調に売上を伸ばし、すなっくな珍味製品では、新製品「チーズ鱈&アーモンド」の拡販に成功し売上増となりました。その他製品では、セット製品の「おつまみセレクション」が大幅に売上を伸ばし、レトルト製品の「酒肴逸品 うずらの味付けたまご」等の新製品も売上増加に貢献しました。

珍味外売場では、ノベルティ需要の減少の影響を受けている小物菓子製品と、梅、栗製品の苦戦により売上が下降傾向にある素材菓子製品が減収となりましたが、チルド製品が引き続き好調で売上を伸ばし、増収となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、155億69百万円（前年同期比 3.5%増）で増収となりました。

製品群別の売上の状況は、下記の通りであります。

期 別 科 目		当四半期累計		前四半期累計		差引増減額・率	
		平成22年3月期 第2四半期		平成21年3月期 第2四半期		増減額	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
		千円	%	千円	%	千円	%
珍味売場	水産加工製品	8,037,529	51.6	7,996,504	53.2	41,024	0.5
	畜肉加工製品	2,115,871	13.6	2,178,869	14.5	△62,997	△2.9
	酪農加工製品	2,097,470	13.5	1,858,156	12.3	239,313	12.9
	農産加工製品	562,973	3.6	503,686	3.3	59,286	11.8
	すなっくな珍味製品	42,370	0.3	9,901	0.1	32,468	327.9
	その他製品	1,259,262	8.1	1,057,049	7.0	202,213	19.1
	計	14,115,476	90.7	13,604,168	90.4	511,308	3.8
珍味外売場	小物菓子製品	313,513	2.0	339,765	2.3	△26,251	△7.7
	素材菓子製品	747,576	4.8	815,883	5.4	△68,307	△8.4
	チルド製品	360,339	2.3	250,757	1.7	109,581	43.7
計	1,421,429	9.1	1,406,407	9.4	15,022	1.1	
珍味売場・珍味外売場・計		15,536,906	99.8	15,010,575	99.8	526,331	3.5
賃貸収入		32,761	0.2	32,261	0.2	500	1.6
売上合計		15,569,668	100.0	15,042,836	100.0	526,831	3.5

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

		当第2四半期 〔自平成21年4月1日 至平成21年9月30日〕		前第2四半期 〔自平成20年4月1日 至平成20年9月30日〕		差引増減額・率	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
連 結	売上高	15,569	100.0	15,042	100.0	526	3.5
	売上総利益	5,336	34.3	4,784	31.8	551	11.5
	販管費	4,597	29.6	4,570	30.4	27	0.6
	営業利益	738	4.7	214	1.4	524	244.9
	経常利益	752	4.8	221	1.5	531	240.1
	第2四半期純利益	345	2.2	42	0.3	302	705.9

利益面においては、当初の計画に対する売上の増加、原材料の仕入先を広げ、ジャスト・イン・タイムを目指した調達、処方変更等による生産性の向上に努めた結果、売上総利益は53億36百万円（前年同期比11.5%増）となりました。

販売費及び一般管理費については、売上増に伴い販売促進費が増加しましたが、積極的に推し進めているコストコントロールによる「ムダとり」が一定の効果をもたらし、45億97百万円（同0.6%増）に留めることができました。この結果、営業利益は、7億38百万円（同244.9%増）、経常利益は7億52百万円（同240.1%増）とともに増益となりました。結果、第2四半期連結累計期間における四半期純利益は、3億45百万円（同705.9%増）で増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末の連結総資産は236億98百万円（前連結会計年度末比85百万円減）となりました。

資産の部では、現金及び預金、建設仮勘定は増加しておりますが、原材料及び貯蔵品、受取手形及び売掛金、商品及び製品の減少などにより総資産が減少いたしました。

負債の部では、長期借入金が増加したものの、短期借入金、支払手形及び買掛金の減少により負債合計は95億53百万円、純資産の部では利益剰余金の増加により、純資産合計が141億44百万円と

なりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末比 1.3 ポイント増の 59.7%となっております。

当第 2 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計期間末に比べ 6 億 79 百万円増加し、12 億 23 百万円となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、16 億 83 百万円（前年同期比 5 億 23 百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益 7 億 31 百万円、減価償却費 3 億 2 百万円、たな卸資産が 7 億 81 百万円減少、仕入債務が 3 億 49 百万円減少し、売上債権が 2 億 86 百万円減少したことによるものです。前年同四半期連結累計期間と比べ、税金等調整前四半期純利益が 6 億 34 百万円増加、たな卸資産額が 7 億 30 百万円減少、仕入債務が 6 億 85 百万円減少しております。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、9 億 81 百万円（前年同期比 7 億 72 百万円減）となりました。これは主に、賃貸マンション建設代金支払い等により有形固定資産の取得として 9 億 49 百万円支出したことによるものです。前年同四半期連結累計期間には、工場における生産設備の購入等での有形固定資産の取得による支出が 1 億 89 百万円ありました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第 2 四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、22 百万円（前年同期比 10 億 26 百万円増）となりました。これは主に、短期借入金を 10 億 20 百万円、長期借入金を 1 億 50 百万円返済した一方で、賃貸マンション建設代金の借入れにより、長期借入による収入が 12 億 50 百万円となったことによるものです。前年同四半期連結累計期間と比べ、短期借入金の返済額を 4 億 9 百万円増加させております。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
22年3月期第2四半期	1,683	△981	△22	1,223
21年3月期第2四半期	1,159	△208	△1,049	628
前年同期比増減	523	△772	1,026	594
21年3月期	1,444	△871	△756	543

3. 連結業績予想に関する定性的情報

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり純利益 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	32,100 (1.3)	1,230 (42.7)	1,280 (49.2)	420 (136.0)	28.88

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

当社グループの第 2 四半期連結累計期間は、増収・増益となりました。

第 3 四半期以降の事業環境につきましては、雇用不安による個人消費の低迷、企業間の価格競争の激化、原材料価格の変動など、当社グループにとりましても予断を許さない状況が続くものと予想されます。

なお、平成 21 年 10 月 23 日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、第 2 四半期連結累計期間における業績予想数値及び通期業績予想数値を修正しております。当社グループでは、第 3 四半期以降、中長期視点に立ったブランド力の強化、及び設備などへの先行投資の追加を計画しております。

第 3 四半期以降、当社グループは引き続き以下の諸施策に取り組んでまいります。

開発面では、「価格競争力のある製品」「プレミアム製品」「高付加価値製品」の競争優位な新製品開発の強化、また従来の珍味のイメージを払拭した新ジャンル開拓を積極的に進めていきます。

販売面では、PB 留型の獲得を積極的に進め、相乗的な NB 製品のシェア拡大へと繋げていき、さらなる売上の増加を目指します。

生産・調達面については、品質にこだわったモノ作りと高レベルの安全安心への配慮と設備の充実、原材料の仕入先を広げると共に、ジャスト・イン・タイムを目指した調達を推進してまいります。

また物流面では配送費の削減、在庫の適正化など現場重視の物流の効率化・コスト削減に努めてまいります。

以上の施策を着実に実行することに加え、引き続きコストコントロールに取り組み、一層の「収益力の強化」をはかってまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

前第 2 四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「受取配当金」は、より明瞭に表示するため、区分掲記することとしております。

なお、前第 2 四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「受取配当金」は8,319千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,516,748	840,994
受取手形及び売掛金	4,476,341	4,761,825
商品及び製品	507,640	773,068
仕掛品	483,133	539,338
原材料及び貯蔵品	2,582,448	3,042,275
その他	289,502	336,130
貸倒引当金	△12,945	△12,977
流動資産合計	9,842,868	10,280,655
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,027,846	6,204,572
土地	4,261,714	4,261,714
その他(純額)	2,304,412	1,678,492
有形固定資産合計	※1 12,593,974	※1 12,144,779
無形固定資産	158,273	150,716
投資その他の資産	※2 1,103,295	※2 1,207,625
固定資産合計	13,855,543	13,503,121
資産合計	23,698,411	23,783,776

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,506,143	2,999,847
短期借入金	1,759,000	2,779,000
1年内返済予定の長期借入金	577,668	400,668
未払法人税等	350,117	257,830
賞与引当金	402,630	259,984
役員賞与引当金	7,500	—
その他	1,131,745	1,339,677
流動負債合計	6,734,805	8,037,007
固定負債		
長期借入金	1,823,317	900,651
役員退職慰労引当金	303,598	270,760
退職給付引当金	25,771	24,657
負ののれん	19,699	24,780
その他	646,764	642,195
固定負債合計	2,819,150	1,863,045
負債合計	9,553,955	9,900,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,934	2,290,938
利益剰余金	10,754,658	10,496,347
自己株式	△815,779	△815,829
株主資本合計	14,204,938	13,946,581
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△60,481	△62,857
評価・換算差額等合計	△60,481	△62,857
純資産合計	14,144,456	13,883,724
負債純資産合計	23,698,411	23,783,776

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	15,042,836	15,569,668
売上原価	10,257,868	10,232,887
売上総利益	4,784,968	5,336,780
販売費及び一般管理費	※1 4,570,740	※1 4,597,897
営業利益	214,227	738,883
営業外収益		
受取配当金	—	8,218
受取賃貸料	20,211	15,930
その他	31,167	28,132
営業外収益合計	51,379	52,281
営業外費用		
支払利息	25,903	21,193
賃貸費用	18,049	15,066
その他	393	2,461
営業外費用合計	44,346	38,721
経常利益	221,261	752,443
特別利益		
固定資産売却益	16,687	—
貸倒引当金戻入額	501	—
特別利益合計	17,188	—
特別損失		
固定資産売却損	—	51
固定資産除却損	140,361	20,487
減損損失	1,324	900
特別損失合計	141,686	21,438
税金等調整前四半期純利益	96,763	731,004
法人税等	53,881	385,437
四半期純利益	42,882	345,566

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,685,916	7,800,998
売上原価	5,255,776	5,046,644
売上総利益	2,430,139	2,754,353
販売費及び一般管理費	※1 2,352,331	※1 2,286,586
営業利益	77,807	467,766
営業外収益		
受取配当金	—	558
受取賃貸料	10,171	8,090
その他	13,857	14,660
営業外収益合計	24,028	23,309
営業外費用		
支払利息	12,241	9,999
賃貸費用	7,110	7,323
その他	369	2,461
営業外費用合計	19,721	19,784
経常利益	82,114	471,291
特別利益		
固定資産売却益	16,358	—
特別利益合計	16,358	—
特別損失		
固定資産除却損	1,838	20,415
減損損失	1,324	—
特別損失合計	3,163	20,415
税金等調整前四半期純利益	95,309	450,876
法人税等	54,474	257,240
四半期純利益	40,834	193,636

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	96,763	731,004
減価償却費	302,694	302,478
減損損失	1,324	900
負ののれん償却額	△5,080	△5,080
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△610	△662
賞与引当金の増減額(△は減少)	92,716	142,646
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,000	7,500
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	33,150	32,837
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,228	1,113
受取利息及び受取配当金	△8,867	△8,472
支払利息	25,903	21,193
固定資産売却損益(△は益)	△16,687	51
固定資産除却損	140,361	20,487
売上債権の増減額(△は増加)	207,512	286,146
たな卸資産の増減額(△は増加)	51,114	781,348
仕入債務の増減額(△は減少)	336,183	△349,095
未払消費税等の増減額(△は減少)	147,108	△15,774
その他	△101,266	△19,313
小計	1,294,548	1,929,307
利息及び配当金の受取額	8,880	8,517
利息の支払額	△21,766	△19,994
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△121,952	△234,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,159,711	1,683,688
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	—	4,000
有形固定資産の取得による支出	△189,635	△949,129
有形固定資産の売却による収入	30,104	19
投資有価証券の取得による支出	△14,748	△15,456
その他	△34,042	△20,559
投資活動によるキャッシュ・フロー	△208,322	△981,126
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△611,000	△1,020,000
長期借入れによる収入	—	1,250,000
長期借入金の返済による支出	△150,334	△150,334
自己株式の売却による収入	—	61
自己株式の取得による支出	△198,266	△15
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△15,579
配当金の支払額	△89,789	△86,939
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,049,389	△22,807
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△98,000	679,754
現金及び現金同等物の期首残高	726,838	543,963
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 628,837	※1 1,223,718

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

当社及び連結子会社は、食品製造販売事業を主な事業内容としており、当該事業区分の売上高及び営業利益は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

当社及び連結子会社は、食品製造販売事業を主な事業内容としており、当該事業区分の売上高及び営業利益は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計額に占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
※1. 有形固定資産の減価償却累計額 10,536,737 千円	※1. 有形固定資産の減価償却累計額 10,328,292 千円
※2. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 103,649 千円	※2. 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 104,280 千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
※1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 販売促進費 915,841 千円 給与手当 1,365,167 千円 賞与引当金繰入額 215,153 千円 役員退職慰労引当金繰入額 33,150 千円	※1. 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。 販売促進費 1,030,157 千円 給料及び手当 1,314,393 千円 賞与引当金繰入額 223,859 千円 役員賞与引当金繰入額 7,500 千円 退職給付費用 47,106 千円 役員退職慰労引当金繰入額 33,900 千円 貸倒引当金繰入額 395 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
※1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在) 現金及び預金勘定 935,854 千円 預入期間が3カ月超の定期預金 <u>△307,016 千円</u> 現金及び現金同等物 <u>628,837 千円</u>	※1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在) 現金及び預金勘定 1,516,748 千円 預入期間が3カ月超の定期預金 <u>△293,030 千円</u> 現金及び現金同等物 <u>1,223,718 千円</u>

(2) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

区分		生産高 (千円)	前年同四半期比(%)
珍味売場	水産加工製品	4,522,576	96.5
	畜肉加工製品	1,304,397	94.5
	酪農加工製品	1,375,853	102.5
	農産加工製品	257,727	111.4
	すなっくな珍味製品	33,712	274.0
	その他製品	526,940	140.1
小計		8,021,207	99.9
珍味外売場	小物菓子製品	182,019	80.7
	素材菓子製品	588,479	87.2
	チルド製品	245,987	139.3
小計		1,016,486	94.4
合計		9,037,693	99.3

- (注) 1. 金額は、実際原価によるものであります。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注実績

当社グループ（当社及び連結子会社）は受注見込による生産方式をとっておりますので、受注高及び受注残高について記載すべき事項はありません。

(4) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

区分		販売高 (千円)	前年同四半期比(%)
珍味売場	水産加工製品	8,037,529	100.5
	畜肉加工製品	2,115,871	97.1
	酪農加工製品	2,097,470	112.9
	農産加工製品	562,973	111.8
	すなっくな珍味製品	42,370	427.9
	その他製品	1,259,262	119.1
小計		14,115,476	103.8
珍味外売場	小物菓子製品	313,513	92.3
	素材菓子製品	747,576	91.6
	チルド製品	360,339	143.7
小計		1,421,429	101.1
珍味売場・珍味外売場計		15,536,906	103.5
賃貸収入		32,761	101.6
合計		15,569,668	103.5

- (注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	販売高 (千円)	割合 (%)	販売高 (千円)	割合 (%)
㈱高山	1,581,422	10.5	1,658,305	10.7

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。